

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査(高田東小学校の結果)

令和4年10月

令和4年4月19日に全国の6年生に実施された全国学力・学習状況調査の結果の概要についてお知らせします。この調査は、次の目的で実施されています。

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善リサイクルを確立する。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

この結果は、児童が身に付けるべき学力の一部であり、学校における教育活動の一側面を表しているものではありませんが、平均正答率に加え、中央値・標準偏差等の数値や分布の状況を表すグラフなど、他の情報と合わせて総合的に分析し、今後の児童一人ひとりの学習改善や学習意欲の向上につなげていきたいと考えています。

## <教科別学習状況調査結果>

平均正答率%	国語	算数	理科
高田東小学校	65	63	64
神奈川県	65	64	63
全国	65.6	63.2	63.3

## <本校の6年生の傾向>

平均正答率は、すべての教科において神奈川県や全国とほぼ同じでした。国語の「読むこと」、算数の「データの活用」、理科の「生命」に関する領域は約70%の正答率がありました。神奈川県や全国と比較して、問題の前半では正答率が高く無回答も少ないですが、後半になると無回答率が高くなる傾向にあります。また、記述式の問題の無回答率が高い傾向が見られました。粘り強く問題に向かい、分かる楽しさを感じられるような指導の工夫をしていく必要を感じています。

今回の調査では、国語や算数の学力だけでなく、児童質問用紙を通して子どもたちの生活・学習意識に関する調査も行われました。「普段、1日あたりどれくらいの時間、ゲームや動画視聴をしますか。」という問いでは、神奈川県や全国と比較して時間が少なく、家庭での約束を守って利用している児童が多いことが分かりました。また、「学校の授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。」の問いには「3時間以上」と答えた児童が30%近くいて、全国平均の倍以上でした。家庭でしっかりと子どもたちを見てくださっていることが分かります。

ただ、「自分には、よいところがあると思いますか。」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合は低く、様々な場面で子どもたちのよさを見つけて励ましていくことが必要だと考えています。

本校では、重点研究として「自分を見つめ、よりよく伸びようとする子どもの育成」を目指し、指導しています。これからも、友達や教員などのかかわりを通して、自分の成長を実感し、自信をもって表現していけるよう尽力していきたいと思っています。